

第 4 回 定 例 会

教 育 行 政 報 告

令 和 4 年 1 1 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会

令和4年第4回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 学芸会・学校祭等について

まず始めに、学芸会・学校祭等についてであります。新型コロナウイルス感染症に関する最新の知見を基に、各学校において感染リスクの低い演目や演出、入替制による保護者の参観やオンラインによる限定配信など様々な工夫を行いながら学芸会や学校祭等が開催されたところであります。

また、10月6日には、芸術文化ホールにおいて、3年振りとなる中学校音楽のつどいが開催され、日頃の音楽の学習成果の発表と交流が行われたところであります。

2 姉妹都市子ども大使交流事業について

次に、姉妹都市子ども大使交流事業についてであります。相互派遣交流の代替事業として、今年度もICTを活用し、各学校において、東広島市の姉妹校とオンライン交流を実施したところであります。

また、新たな取組として、両市の特色ある給食レシピを交換し、東広島市においてはスープカレーを、本市では、12月19日に、レモンを使用した鶏肉の唐揚げを提供する給食交流を展開したところであります。

3 障がい児者の学びと体験の推進について

次に、障がい児者の学びと体験の推進についてであります。10月15日に北広島市総合体育館において、北海道教育委員会との共催により「スポーツの秋！みんなのスポーツフェスタ」を開催したところであります。

当日は、18チームの参加によるボッチャ大会をはじめ、2008年北京パラリンピック日本代表の^{たかだともえ}高田朋枝さんの指導によるゴールボール体験のほか、車いすバスケットボール、フライングディスクなどのアダプテッド・スポーツの体験、また、視覚障がいのある方も楽しみながら描けるアート体験が行われたところであります。約200名の参加があったところであります。

また、10月22日には、北広島市総合体育館において、北海道と北海道スポーツみらい会議との共催により「北海道みらい運動会」を開催し、12チーム約200名の参加のもと、ボッチャや車いすリレーなどが行われたところであります。

これらの事業を通して、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、だれもがスポーツに親しむ機会の創出につながったものと考えているところであります。

4 第43回読書まつりについて

次に、第43回読書まつりについてありますが、10月11日から16日までの間、北広島市図書館フィールドネット運営委員会との共催により、北広島市図書館と芸術文化ホールギャラリーにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、開催したところであります。

今年度は、スロバキア在住の絵本作家、^{ふりや}降矢ななさんの絵本原画や北広島市図書館フィールドネット団体の活動を紹介するポスター等の展示を実施するとともに、ボランティアによる本の読み聞かせや、小学生による一日司書体験を行ったところであります。

5 寒地稲作成功150周年記念プレ事業について

次に、寒地稲作成功150周年記念プレ事業についてであります。10月15日から10月23日までの間、旧島松駅通所ライトアップ秋編を実施したところであります。期間中、先着100名への赤毛米プレゼントや、市内の保育園児が作成した小灯籠の点灯、北海道日本ハムファイターズのメインマスコットであるフレップも参加したナイトエコミュージアムバスツアーの取組もあり、約1,000名を超える観覧者があったところであります。

また、10月29日には、芸術文化ホールにおいて、有志による記念事業準備委員会との共催により「リレートーク～中山久蔵翁の寒地稲作成功と島松沢の魅力・可能性」を開催し、定員を超える約100名の参加があったところであります。

当日は、中山久蔵翁の偉業に関する基調報告と、島松沢を中心に活動されている方々による島松沢の魅力や可能性など地域づくりの視点によるリレートークが行われたところであります。

今後も、有志による記念事業準備委員会や庁内関係部署と連携を図り、次年度の150周年記念事業に向け取り組みを進めてまいりたいと考えているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。